

## 積極的に参加しよう! (水との多様な関わりを広げよう!)

市民が水と多様なかわりを持ち、正しい知識をもち、日常的に川に親しみ、水への関心を高めるため、歴史的・伝統的行事の復活や、川を対象とした環境学習の場の形成を積極的に実施しています。みなさんの積極的な参加をお待ちしています。

**期待される効果** 市民の水への正しい知識、親しみ、関心の高まり。

**実施方法**

### 1 梅田川を使った環境学習

(仙台リバーネット梅田川)

各種イベントの実施

- 「梅田川の水質調査」
- 「仙台天水桶」の普及
- 「いきもの・ゴミ調査」

広報

情報誌(年数回)により多くの市民への広報と参加を呼びかけます。



生き物・ゴミ調査でゴミの調査を行う参加者

### 2 七北田川親子自然教室

(宮城県)

宮城県では、NPOと協働による「流域の自然、水環境保全の大切さ」を子供、親を対象に学び遊ぶ機会を提供しています。



### 3 けんせつ出前講座

(国土交通省)  
P.8参照

中田小学校での実施例

中田小学校では、総合的な学習として、名取川に関する活動計画を実施しています。平成14年には、「川の水はきれい?」「川にすむ生物」「川のはたらき」をテーマに出前講座を行いました。



CODバックテストを実施

### 水と関わりのある市民団体

- 広瀬川の清流を守る会 TEL.022-247-6522  
広瀬川に蜚の再生を目指し、水環境改善活動や公開講座などを実施。
- 仙台・水の文化史研究会 TEL.022-233-6824  
先人が形成した水文化を調査・研究・評価し、より望ましい水文化を提言。
- 仙台リバーネット梅田川 TEL.070-5621-6881  
天水桶の普及および梅田川の浄化活動。
- 水環境ネット東北 TEL.022-723-1390  
産・官・学・野の人々が自由かつ活発な意見や情報交換を行う場づくりや人のネットワークづくり。
- 泉ヶ岳の自然と七北田川の清流を守る会  
TEL.022-378-0537  
泉ヶ岳とそれを源とする七北田川流域の自然環境を保全する活動。
- 宮城の自然と魚を守る会 TEL.022-223-3881  
川を通して、自然環境を考える。
- 「四ッ谷の水を町並みに!」市民の会  
TEL.022-279-9104  
仙台の歴史的水辺「四ッ谷用水」の復活を目的とし、具体案を関係機関に提案。など...

## 水環境の歴史的な再評価 (先人の知恵を学ぼう!)

ため池や都市内水路などが今後どうあるべきか、歴史的背景をふまえ、広く意見を聞く必要があります。行政と市民が一体となり、様々な視点から、現存する物や消滅してしまった物の価値について再認識し、21世紀の新たな水文化を醸成する基礎としていきます。みなさんも一緒に仙台の水の歴史に思いを馳せ、これからの仙台の水文化を考えていきましょう!

**期待される効果** 水と水利用に関する認識の深まり  
新たな水文化(持続可能な水利用, 環境負荷が少ない水利用)を創造する意識の醸成

**実施方法** 仙台地域の水文化に関するフォーラム等の開催

~四ッ谷用水~

伊達政宗公が広瀬川をさかのぼる郷六に堰を作り、町中に水を引いたのが始まりで、歴代藩主がこれを受け継ぎ元禄時代にほぼ完成しました。

四ッ谷用水は市内の中心を縦横に走り、広瀬川とともに水の都仙台の大きな財産となっていました。昭和10年代に用水路に蓋が被され、市民の目に触れなくなりました。近年では、市民活動により四ッ谷用水の役割などについて話し合われるシンポジウム(仙台・水の文化史研究会主催)などが開催されています。



大崎八幡宮参道の四ッ谷用水にかかる橋。昭和30年代中頃までは、蓋もななくきれいな水が流れていました。(青葉区八幡四丁目)

### 水利用に係わる歴史的土木建造物の再評価

~青下ダム~

広瀬川の支流青下川に1934年(昭和9年)に完成した水道取水専用のダムです。

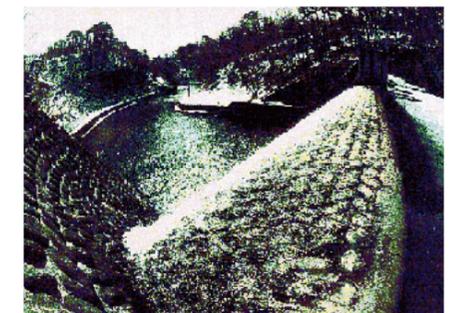
利水容量確保のために堤を3段に分けたり、表面の劣化を防ぎ保護するために堤や壁面のコンクリートに玉石を埋め込むなどの工夫が施されています。

このような歴史的建造物に見られる先人の知恵を再評価し、学ぼうとする気運が、市民や有識者の間に広まりつつあります。



(引用)河北新報 H12.1.19

青下ダム



(引用)河北新報 H13.3.17